科目名称：	歴史学		
担当者名：	三浦　哲志		
区分	授業形態	単位数	
基礎教育科目	講義	2	

授業の目的・テーマ

中国の著名な歴史書『史記』を取り上げる。『史記』は東アジア文化圏における共通の古典であり、その史料的価値と文学性の高さから日本においても古くから読み継がれてきた。小説化・映像化された著名な人物・エピソードや人口に膾炙した言葉が数多く含まれており、その内容は現代を生きる私たちにも大いに参考になると言える。授業においては、長大な『史記』の中で特に有名な章を扱い、現代語訳で内容確認の後、解説と質疑応答を行う。受講者は、各章に登場する人物や地名についてテキストや配付プリントで確認し、各自で内容の理解に努力するようにしてもらいたい。

授業の達成目標・到達目標

『史記』の成り立ちやあらすじについて理解し、古代中国の風習や現代まで伝わった故事成語を知り、現代文化に与えている影響について理解することを目標とする。

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	○
DP(3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 （レポート含む）	その他	合計
全学DP(1)					0
全学DP(2)	90		10		100
全学DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容１》	《経験年数１》
	《内容２》	《経験年数２》
	《内容３》	《経験年数３》
	《内容４》	《経験年数４》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
中国史の理解	中国史について十分な知識を持ち、前後関係を理解し、他者に説明することができる。	中国史について一定の知識を持ち、他者に説明することができる。	中国史の知識が限定的で、あまり理解していない。	中国史の知識が不十分で全体的に理解が足りない。
『史記』の成立に対する理解	『史記』成立について十分な知識を持ち、人物の関係を理解し、他者に説明することができる。	『史記』成立について一定の知識を持ち、他者に説明することができる。	『史記』成立についての知識が限定的で、あまり理解していない。	『史記』成立についての知識が不十分で全体的に理解が足りない。
『史記』の記述に対する理解	『史記』の各章の記述について十分な知識を持ち、他者に説明することができる。	『史記』の記述について一定の知識を持ち、他者に説明することができる。	『史記』の記述について知識が限定的で、あまり理解していない。	『史記』の記述について知識が不十分で全体的に理解が足りない。
『史記』の関連作品に対する理解	内容を理解し大いに関心を持てる。個性的な意見を述べられる。	内容をおおよそ理解し他者に説明することができる。	内容を部分的に理解しているが、あまり関心を持つことができない。	内容が理解できず、関心も持てない。

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第１回	『史記』の概要、著者・司馬遷の人生について学び、全体でディスカッションする。	シラバスを精読しておく。授業内で配付した『史記』のプリント・資料、指示した作品を読む。	45分
第２回	「伍子胥列伝」を読む。	復習、および授業内で配付したプリント「伍子胥列伝」の資料、指示した作品を読む。	45分
第３回	前回に引き続いて読み進め、内容を総括し、意見・感想を共有する。	復習、および授業内で配付したプリント「伍子胥列伝」の資料、指示した作品を読む。	45分
第４回	「孫子呉起列伝」を読む	復習、および授業内で配付したプリント「孫子呉起列伝」の資料、指示した作品を読む。	45分
第５回	「刺客列伝」を読む	復習、および授業内で配付したプリント「刺客列伝」の資料、指示した作品を読む。	45分
第６回	前回に引き続いて読み進め、内容を総括し、意見・感想を共有する。	復習、および授業内で配付したプリント「刺客列伝」の資料、指示した作品を読む。	45分
第７回	「項羽本紀」を読む。	復習、および授業内で配付したプリント「項羽本紀」の資料、指示した作品を読む。	45分
第８回	映像資料・電子黒板を用いて『史記』を理解する。	DVD視聴による学修成果を小レポートをまとめる。	45分
第９回	「項羽本紀」を読む。	復習、および授業内で配付したプリント「項羽本紀」の資料、指示した作品を読む。	45分
第10回	映像資料・電子黒板を用いて『史記』を理解する。	DVD視聴による学修成果を小レポートをまとめる。	45分
第11回	「項羽本紀」を読む。	復習、および授業内で配付したプリント「項羽本紀」の資料、指示した作品を読む。	45分
第12回	映像資料・電子黒板を用いて『史記』を理解する。	DVD視聴による学修成果を小レポートをまとめる。	45分
第13回	『史記』に関連した映像資料を用いて中国史を理解する。	授業内で配布したプリント・資料、指示した作品を読む。	45分
第14回	『史記』に関連した映像資料を用いて中国史を理解する。	授業内で配布したプリント・資料、指示した作品を読む。	45分
第15回	『史記』に関連した映像資料を用いて中国史を理解する。	DVD視聴による学修成果を小レポートをまとめる。	45分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、 90%で評価する。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業内提出課題10%

課題に対してのフィードバック

授業内提出課題は評価して返却する。

教科書・参考書

プリント配付